



- カラーインタビュー 2020年全日本選手権女子単優勝 早田ひな(日本生命)【14】
- カラー大会報道 リーグ【18】
- カラー大会報道 第59回大阪国際招待選手権大会【20】
- カラーインタビュー NPO法人大阪卓球協会 辻裕会長、
平尾信次副会長、阪井一利理事長【22】
- 大会報道 第59回大阪国際招待選手権大会【26】
- インタビュー 三條裕紀(青山学院大学)【30】
- 日本の肖像 関芳弘(卓球国會議員連盟事務局長)【32】
- 練習のヒント 織部幸治(ITS三鷹代表)【34】
- トレーニングFF 田中礼人(男子NT専任コーチ)【36】
- ラージボールダブルス講座 藤本武司(東京営業部)・小野千代(卓精会)【38】
- 海外情報 ITTFワールドツアー(ドイツ、スペイン、ポルトガル、ハンガリー)【57】
- カラー連載 How to Table Tennis 丸川真一(TCマルカワ)【58】
- カラー連載「カットへの扉」 石垣優香(日本生命)【66】
- Nittaku社員エピソード 有田慎治(東京営業部)【68】
- カラー講習会 根室管内・標津町講習会【70】
- ラージボールを愛する人たち 半澤伝・半澤みつ子(宮城県)【72】

第5チャンネル【40】

ピンポン東西南北【41】

各地レポート【43】

ラージ大会【51】

みんなのコーナー【56】

編集室【56】

Message

国内最高権威の全日本選手権が終了しました。多くの方が新たな目標に向かって、動き始めたと思います。新しい技術を習得する選手、今の技術の精度を高める選手もいれば、指導者においても、新しい指導法や新たな伝え方など、創意工夫をしていると思います。

自分としては凄く頑張っているつもりなのに、何かがうまくいかなくなったり、それは努力の矛先が間違っている可能性があるのではないかでしょうか。自分ではなかなか気が付かないのだけれど、正しい方向に向かっていない状況が続くと、変えなくてよかったことも変えてしまい、ますますうまく

いかなくなってしまって、自信を失ってしまうケースがあると思います。一心不乱に努力するのももちろん大切ですが、今自分が進んでいる方向が間違っていないか、誰かに尋ねてみることも一つの方法であると思います。

客観的に自分を判断できて、自分で間違っていない方向に進んでいると気が付き、自分で正しい方向に修正できる人間であれば言うことはないと思いますが、なかなかそうはいきません。

努力したから、と見返りを求めるわけではなく、将来の自分への投資だと思い、コツコツ行動していくことが大切だと思います。

(温)



表紙
天皇杯・皇后杯
2020年全日本選手権大会
(一般・ジュニアの部)より
撮影: 温哲亮